

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	関 明美（2）	<p>1. ペット同行避難の課題と解決策について</p> <p>日本では、地震や台風、豪雨などによる自然災害が頻発しており、災害時に自宅での安全確保が困難な場合、自治体が指定した避難所に避難することが想定される。その際に問題となるのが、避難者が飼っているペットであり、環境省は災害時のペットの扱いについては、飼い主とペットが避難所に同行する同行避難を推奨している。この同行避難では基本的にペットは避難所には入れず、屋外に置くことが想定されている。</p> <p>能登半島地震において、この同行避難には多くの課題が指摘されている。避難所の管理者がペット同行避難者の受入れを拒否したケースや、避難所には行かず、車中泊や壊れた自宅での避難を選択する被災者が多くいた。避難所へ同行避難をしなかった主な理由は、ペットと離れて避難することにある。特に、当時の能登半島は最低気温が氷点下近くまで下がる中、ペットを屋外に置くことはペットの命に関わることであり、屋外の同行避難はペットの飼い主としては受け入れがたいものであった。</p> <p>ペットを連れた被災者の中には避難所への受入れを拒否され、壊れた自宅に避難していたところ火災に遭い、亡くなった方がいる。珠洲市の65歳男性はこのケースであり、避難所に避難できていれば助かった命であると、誰もが思わずにはいられない事案であった。この男性の死からは、ペット同行避難の問題は人命に関わる問題であることが分かる。</p> <p>ペット同行避難は、東日本大震災や熊本地震だけでなく、能登半島地震においても同じような問題が繰り返し起きており、これまでの教訓が生かされておらず、ペットを連れた被災者も避難所を利用することができるよう、支援の強化が求められる。災害時において一人でも多くの命を救うためには、屋内にペット同行避難者用の避難スペースの確保を行い、同室避難とすることが必要だと考え、以下質問する。</p> <p>(1)本市ではペット同行避難者の避難所での受入れ態勢はどのようなになっているか伺う。</p> <p>(2)本市の防災訓練でペット同行避難を行った実績はあるか伺う。</p> <p>(3)ペット同行避難の課題をどう捉えているか伺う。</p> <p>(4)ペット同行避難の課題を解決することは人命を守ることにつながるものと考えるが、当局の見解を伺う。</p> <p>(5)人命を守るため、事前にペット同行避難者用に屋内に避難スペースを確保し、飼い主とペットと一緒に避難する同室避難とすることが必要だと考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長